

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は、2019年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会競技注意事項によって行う。

2 競技場使用上の注意

- (1) 更衣室は使用禁止とする。
- (2) 医務室は、正面スタンド下、会議室横に設けてある。
- (3) 入場は係員の誘導による。
リレー走者の一部を除き、競走競技の決勝線到着後は、第2ゲートより退場する。フィールド競技の競技者は、係員の指示に従って退場する。
- (4) 400m以下の短距離走については、フィニッシュライン通過後は曲走路に沿って走ること。
- (5) スパイクシューズのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳のピンの長さは12mm以下とする。
- (6) 補助競技場、バックスタンド雨天練習場の使用については、安全確保のために、係員の指示に従うこと。
- (7) ウォーミングアップについては、プログラム P8 に記載されている内容に従い、安全に留意して行うこと。

3 競技者の招集について

- (1) 招集所は、競技場第3コーナー付近（バックスタンド下）に設ける。
- (2) 招集開始・完了時刻は競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

	招 集 開 始	招 集 完 了
トラック競技	競技開始 30 分前	競技開始 15 分前
フィールド競技	競技開始 60 分前	競技開始 40 分前

※棒高跳については、開会式終了後、競技場内での練習を認める。役員の指示に従って行うこと。

- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものと処理する。
- (4) 招集の手順は、次のとおりとする。
 - ① 競技者は、上述(2)に示した招集開始時刻に招集所に待機し、最終確認を受ける。その際、ナンバーカード、競技用靴、衣類、持ち物等の検査を受けること。
 - ② 招集所は、当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。
 - ③ 代理人による招集の最終確認は、原則として認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、招集開始時刻前までに招集所に届け出ること。
 - ④ リレー競技に出場するチームは、その種目（1組）の招集完了時刻の1時間前までに、招集所に用意してある用紙にオーダーを記入し、提出すること。
 - ⑤ 出場種目を棄権する場合は、招集開始時刻までに招集所に届け出ること。

4 競技運営について

- (1) セパレートで行う競技種目で棄権があった場合は、そのレーンをあける。
- (2) タイムにより、次のラウンドの出場者を決めるときに同記録者があるときは、写真判定主任が同記録者の写真を拡大（1/1000秒以上の差が認められた場合）して進出者を定める。それでも決められないときは、同記録者本人あるいはその代理人が抽選を行う。（競技規則第167条を適用）
- (3) 競技前の跳躍・投擲の練習は、審判員の指示によって行う。
- (4) リレー競技のマーカの使用は1か所とし、各チームで準備する。使用したマーカはそのチームで処理する。
- (5) 決勝の組み合わせ・競技順は、主催者が決める。
- (6) 抗議は競技規則第146条に従って、監督が各地区専門部長を通じて行う。なお、抗議受付窓口は正

面スタンド下会議室に設ける。

5 用器具及びハードルについて

- (1) 競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。ただし、棒高跳用ポールに限り、競技開始前に現地で検査を受け、合格した個人所有物の使用を認める。
- (2) ハードルは次の規格で行う。

性	種目	ハードルの高さ	スタートから第1ハードルまで	インターバル	最終ハードルからゴールまで	台数
男	110mH	91.4cm	13.72m	9.14m	14.02m	10
	100mH	84.0cm	13.00m	8.50m	10.50m	10
女	100mH	76.2cm	13.00m	8.00m	15.00m	10
	80mH	76.2cm	12.00m	7.50m	15.50m	8

- (3) 砲丸投げの砲丸の重さは、男子5.0kg、女子2.721kgのものを使用する。

6 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

走高跳	男子	(練習) 1m40	1m45-50-55-60-65-70-75-80-85	あと3cmあがり
	女子	(練習) 1m20	1m25-30-35-40-45	あと3cmあがり

棒幅跳	(練習) 2m00	2m10-20-30-40-50-60・・・3m80	あと5cmあがり
-----	-----------	----------------------------	----------

7 三段跳びについて

- (1) 踏み切り板を8mと10mの位置にセッティングする。選手は、競技力に応じて事前に踏み切り板の距離を申告する。
- (2) 競技途中の踏切位置の変更は、原則として認めない。

8 ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは、配付されたままの大きさで使用する。(折り曲げない)
- (2) ユニフォームの胸部と背部に確実に結着する。ただし、走幅跳・三段跳・走高跳・棒高跳はどちらか一方でもよい。
- (3) トラック種目は、レーンナンバーを右腰につける。このとき、番号がはっきりと見えるようにする。レーンナンバーは、フィニッシュ地点で係員が回収する。

9 採点・表彰について

- (1) 採点……学校対抗(男女別)
得点1位(8点)・2位(7点)……8位(1点)
- (2) 表彰……個人1位～8位賞状 リレー1位～3位賞状
団体 学校対抗1位……優勝旗 1位～6位……賞状

※ 決勝種目の成績発表後ただちに表彰を行うので、8位までに入賞した選手は正面スタンド下会議室に集合し、待機すること。表彰は競技用のユニフォームで実施する。他種目出場のため出られない場合には、必ず代理を立てること。

10 その他

- (1) 参加者の競技中の発病・負傷については、主催者は応急処置のみを行うが、一切の責任は負わない。
- (2) 選手の変更は、補欠としてプログラムに記載してある者のみ認める。
- (3) 開会式・閉会式は各地区代表者が参加するものとする。
- (4) この大会の3年生の参加種目については、国体(少年B、少年共通種目)予選会を兼ねる。
- (5) 競技会で使用する略語・略号は下のとおりである。

NPC: 県中学新記録 EPC: 県中学タイ記録

GR: 大会新記録 EGR: 大会タイ記録 DNS: 棄権 DNF: 途中棄権 DSQ: 失格

○: 有効試技 ×: 無効試技 -: パス /: 試技放棄 ZEN: 全国標準記録突破